山梨県神社庁報

かみがね

祝祭日には国旗を掲げましょう

8月9日 山の日
9月20日 敬老の日
9月23日 秋分の日

令和3年夏号 (第194号)

悠紀の里

お田植祭奉仕

斎田田植祭次第

一 修祓の儀

一 降神の儀

一 献饌

一 祝詞奏上

一 田植の儀

一 玉串奉奠

一 撤饌

一 昇神の儀

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

神社本庁五月定例評議員会報告

神社本庁において、五月二十七日新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から五月定例評議員会を常任委員会としてウェブ会議システムを併用して行われた。

常任委員会は五月二十七日午後一時神社本庁地下一階会議室において開催され、出席者四十名中二十七名がウェブにて出席した。

はじめに、鷹司尚武統理、田中恆清総長が挨拶を行い、その中で、鷹司尚武統理より神社本庁設立七十五周年記念大会を延期せざるを得なくなったことについて触れられた。田中恆清総長は、定例評議員会をやむを得ず常任委員会として開催することになったことなどを説明し、出席者に協力を求めた。

諸般の報告、決議録署名委員の指名の後常任委員長が議事進行を行う。はじめに、「令和二年度一般会計歳入歳出補正予算案（第二次補正）」が上程され、事務局の説明のち、可決された。次に「令和三年度一般会計

歳入歳出予算案」「一般会計資金年度一時繰替の件」の令和三年度予算関係二議案を一括議題として上程した。田中総長より「令和三年度一般会計予算大綱」が示された。

この中で重点施策として「神宮大麻・暦の頒布」「過疎地域神社の活性化」「憲法改正の機運醸成」「神職養成・研修の充実」の四項目を掲げた。また、コロナ禍の対応の一環として昨年からの三年間に互り「負担金賦課徴収に関する特別措置規程」に基づく負担金の控除を行っていることを説明した。

質疑において、法務関係費に對してその算出方法や使用目的について意見が出されたのち、原案の通り可決された。

続いて「令和三年度御代替特別会計歳入歳出予算案」と「役員進退に関する規程の一部変更する規程案」について上程され、原案の通り可決された。

案審査特別委員会を設置して審議することが役員会で決議されたことを報告し、承認された。

閉会にあたり鷹司尚武統理からオンライン形式の会議に向けて、発言による影響などを懸念せず、活発に意見を述べるように求めるとともに、「本当は面と向かつて議論をして、一つ一つ解決をしていくことが一番いい」と述べられた。

全国神社総代会定例代議員会報告

本年開催予定でありました全国神社総代会五月定例代議員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面表決となり、議事六件が原案通り了承されました。

神道政治連盟中央委員会報告

本年開催予定でありました神道政治連盟中央委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から常任委員会での決議となり、議事五件が原案通り承認されました。

神社本庁規程表彰を受けて

武田神社
権禰宜 乙 黒 洋

図らずも神社本庁規程表彰第三号第二号の栄を賜りました事は誠に有り難く、斯様な表彰を拝受致します事は、小職にとりまして身に有り余る光栄であり、恐縮の極みと存ずる次第です。

平成四年の春に國學院大學を卒業の後、静岡県三島市鎮座三嶋大社に奉職し、神職としての道を歩み始め、三嶋大社に於ける約八年の奉仕を経た後に、曾祖父故清治、祖父故松根、父故好夫と、神社創建以来奉仕させて戴いている、武田神社に奉職し凡そ三十年を数えました。その歩みを振り返りますと、三嶋大社前宮司故矢田部正巳様、武田神社前宮司土橋勝夫様を始め

とする、叱咤激励を頂戴した先輩諸賢、同級生等の苦楽を分かち合った良き友輩、更には拙さを補い支えてくれた後輩と、多くの方々のご尊顔が浮かんで参ります。本表彰を受けるのに際し、改めてその方々に対し、衷心より篤く感謝を申し上げたく存じます。

結びに、素より浅学非才の身ではございますが、今後も斯道興隆の為、粉骨碎身神明奉仕に精勵致す覚悟でございますので、倍旧の御指導、御鞭撻を賜りますようお願いして懇願申し上げます。御挨拶まで申し上げます。

浅間神社
禰宜 植 松 真 芳

例年五月に開催される神社本庁表彰式に於いて、本年当県では神社本庁表彰規程第三条第三号小松神社 役員 坂本宗正氏(北都留支部)、第三条第二号

武田神社権禰宜乙黒洋氏(甲府支部)、同じく第三条第二号にわたくし(東八代支部)の三名が授章となりました。本年は神社本庁設立七十五周年の佳節の年にあたり、当初では五月二十六日 明治神宮会館に於いて総裁、統理のご臨席の下「神社本庁設立七十五周年記念大会」第一部 明治以降物故神職総代慰霊祭を斎行、第二部にて設立を祝う記念式典が開催される予定でした。更に例年ではその後、東郷記念館に移動し恒例の県内の皆様よりお祝いの会を戴くところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためそれら全てが延期となりました。

改めてこの長引く疫病が早急に終息し、安全 平穩 豊かな日常を取り戻し、諸行事が問題なく盛大に開催される日が戻りますようお願い申し上げます。

この度の授章は、平素より御指導下さいます皆様のお蔭と感謝し御礼申し上げます。今後さらに神明奉仕に勤しみ微力ながら斯界の発展に尽力出来ま

よう、改めて気を引き締めて参る所存です。

小松神社
役員 坂 本 宗 正

此度、神社本庁設立記念日にて表彰の被表彰伝達式が開催されました。表彰規程三条三号表彰者、県下にて神社総代関係者多数の方がおります所、私身に余る名誉を賜り身が引き締まる思いで感無量でございます。心新たにご奉仕の念に付きたいと思っております。

令和三年度私の奉仕しております小松神社にて新年の始めの大切な神事、初詣の開催について、未だに先の見えぬ新型コロナウイルス感染症の猛威の一刻も早い収束を願う時期に、又氏子崇敬者の方々の心情を考えた時の開催について役員一同検討の結果三密を避けながらの開催と致しました。除夜の鐘の音を聴きながら新年を迎え、一月一日、参拝

者の出足が悪く役員皆様と言葉少なく顔を見合わせておりました。新年二日、三日を迎えたころ一組二組と子どもづれや、若い二人連れの参拝者がコロナ感染を防ぎながら来られました。又、先の見えぬ事を思うと不安でたまらないと語る年配の方々にも会いました。昨年祭祀祭典を迎えた時に役員の方々より祭典の中止を求められ、私始めての出来事に戸惑い、三神社を奉仕している一神社について正式に祭事を齎行し、他神社については責任役員のみ、又私一人にて神前にてお許を頂き祭典の御参拝を致しました。今世界は各国々にて混乱を抱く時こそ、神に祈願を致し、祭祀祭典を神職を通し神に寄り添い、願いを聴き頂く欠かせない神事である事を役員の皆様にご理解をいただき、今後は中止をせず三密を避けながら時節に合わせながら祭祀祭典を齎行し、ご祭神に忠義をいたし、心の聖地である神前にて手を合わせて御奉仕を勤めてまいりたく思っております。

神道青年会新役員紹介

神道青年会

会長 藤巻普紀

令和二年十二月三日に開催された臨時総会におきまして、竹

井会長より後任として第十九代山梨県神道青年会会長の大役を仰せつかりました、藤巻普紀と申します。元より浅学菲才の身、若輩者ではございますが、この重責を誠心誠意努めて参ります。さて、当会は昭和二十五年、敗戦間もない祖国の未来と神社神道の明日を憂い結成された山梨県の若手神職の会でございます。設立以来、諸先輩方が斯界の先兵としての気概を胸に時局に応じた活動を展開して参りました。令和三年には創立七十周年を迎え、本来ならば記念事業や記念大会を開催する事になっていきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により事業はおろか集まる事さえままならない状況となりました。昨年は会

員一同、疫病の終息を願いに各御社にて祈りを捧げましたが、未だ予断を許さぬ状態が続いております。その様な状況ではあります。七十年もの長きに渡り守り伝えてこられた歴史と伝統を引き継ぐ中で時局に応じた事業を展開させていくことが、私たち青年神職の大切な使命であると存じます。創立七十周年記念大会は来年三月に延期という決断をいたしました。それまでに事業完遂を目指し鋭意努力をして参る所存でございます。会員相互の連携、切磋琢磨を図り神社神道の興隆を期するとう本会創立時に掲げられた目標に立ち返り、会員各位の巨力を得て難局に立ち向かい山梨県神道青年会の更なる発展の為、微力ながら尽力して参りますので、先輩諸賢におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

山梨県神道青年会

会長 住吉神社

副会長 藤巻普紀

副会長 山神社

副会長 濱 武尊

副会長 富士山小御嶽神社

副会長 小佐野 正崇

副会長 浅間神社

副会長 津金 善美

監事 若宮八幡神社

監事 金子 雄紀

監事 稲積神社

監事 渡辺 僚

事務局長 北口本宮富士浅間神社

事務局長 丹沢 稜

教化部長 武田神社

教化部長 岡田 美佐子

広報部長 北口本宮富士浅間神社

広報部長 高阪 雄次

事業部長 八幡神社

事業部長 深澤 宜彦

指名理事 浅間神社

指名理事 古屋 真東

指名理事 武田神社

指名理事 中村 譲

絵本 日本の神話

アマテラスとスサノオ (第六話)

さく・え たたら なおき

お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

「一般財団法人 日本文化興隆財団」提供
 問い合わせ 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一五―十
 電話 〇三―五七七五―一一四五
 一冊 二〇〇円

そのすきに オロチのくびを
バッサ バッサと
切りおとしていきます。

「ぐわー やられた、もうだめだー。」
のたうちまわる オロチは
とつとつ 動かなくなっていました。
とどめに 「えいっ」と
しっほに 切りつけると、
つるぎが ポキンとおれてしまいました。

【一級社】

山梨市北 大井俣窪八幡神社

【二級社】

甲州市塩山小屋敷 松尾神社

甲州市塩山竹森 玉諸神社

甲州市塩山熊野 熊野神社

甲州市塩山上萩原 神部神社

山梨市下石森 山梨岡神社

山梨市下栗原 大宮五所大神

山梨市正徳寺 唐土神社

山梨市大工 天神社

山梨市西 大石神社

山梨市三ヶ所 諏訪神社

笛吹市春日居町鎮目 山梨岡神社

山梨市牧丘町西保中 菅神社

山梨市牧丘町北原 神明神社

山梨市牧丘町倉科 黒戸奈神社

山梨市牧丘町隼 諏訪神社

甲州市勝沼町菱山 古宮太神社

甲州市勝沼町勝沼 雀宮神社

甲州市勝沼町等々力 諏訪神社

【四級社】

甲州市塩山上井尻 諏訪大神社

甲州市塩山上萩原 松田山神社

甲州市塩山藤木 八阪大神社

山梨市上神内川 神部神社

山梨市大野 橋立大神社

山梨市小原西 大井俣神社

甲州市勝沼町上岩崎 氷川神社

※その他 五・六級社より七社

大嶽山那賀郡神社 立石神社

古宮太神社 宮司 高原 左門

甲斐奈神社 宮司 高野 英夫

氷川神社 宮司 窪坂 文恒

五所大神社 宮司 高野 正興

天神社 宮司 稲葉 和仁

黒戸奈神社 宮司 松田 公仁

大宮五所大神 宮司 田邊 芳弘

山梨岡神社 宮司 横森 寿夫

八天宮神社 宮司 中村 司

唐土神社 宮司 今沢 茂則

白鬚神社 宮司 小田切宣幸

諏訪大神社 宮司 日原 史絵

黒戸奈神社 宮司 日原 瑞枝

大井俣窪八幡神社 宮司 今沢 昭彦

菅田天神社 宮司 日原 太郎

大宮五所大神 宮司 今沢寛万呂

熊野神社 宮司 横森 大祐

天神社 宮司 土屋 正人

大嶽山那賀郡神社 宮司 窪坂 順臣

天神社 宮司 萩原 由貴

神明神社 宮司 松田 光子

諏訪神社 宮司 小林百合子

山梨岡神社 宮司 仙洞田茂美

菅田天神社 宮司 彌宜 土屋 裕毅

唐土神社 宮司 權禰宜 後藤 千絵

権禰宜 三井 茂

東八代支部管内 一〇〇社

○神社協賛

【別表社】

【二級社】 笛吹市一宮町一ノ宮 浅間神社

笛吹市石和町市部 石和八幡宮

笛吹市八代町北 熊野神社

笛吹市御坂町上黒駒 檜峯神社

笛吹市御坂町三之宮 美和神社

甲府市中畑町 諏訪神社

甲府市下向山町 佐久神社

【三級社】

笛吹市一宮町末木 両之木八幡宮

笛吹市一宮町橋立 甲斐奈神社

笛吹市一宮町中尾 中尾神社

笛吹市石和町河内 佐久神社

笛吹市石和町八田・川中島 比枝神社

笛吹市八代町米倉 銚衝神社

笛吹市八代町永井 天神神社

笛吹市境川町石橋 八幡神社

笛吹市境川町三柵 熊野神社

甲府市上曾根町 日枝大神社

甲府市下曾根町 福歳大神社

中央市浅利 諏訪神社

【四・六級社】

笛吹市一宮町石 蜂城天神社

笛吹市一宮町市之蔵 神明神社

笛吹市一宮町南野呂 大宮神社

笛吹市石和町窪中島 神明神社

笛吹市八代町竹居 熊野神社

笛吹市八代町尾山 熊野神社

笛吹市御坂町尾山 杵衝神社

笛吹市御坂町成田 熊野神社

笛吹市御坂町八千蔵 熊野神社

笛吹市境川町小黒坂 熊野神社

笛吹市境川町寺尾 諏訪南宮大神社

笛吹市境川町小山 若宮神社

甲府市右左口町 五社神社

中央市関原 若宮八幡神社

中央市大鳥居 水神社

中央市大鳥居 山神社

笛吹市一宮町下矢作 天神社

笛吹市一宮町坪井 牛飼神社

笛吹市一宮町坪井 熊野神社

笛吹市一宮町石 若宮八幡神社

笛吹市一宮町狐新居 山神社

笛吹市一宮町塩田 国立神社

笛吹市一宮町上矢作 唐土神社

笛吹市石和町広瀬 八王子神社

笛吹市石和町小石和 諏訪神社

笛吹市石和町松本 物部神社

笛吹市石和町中川 日当神社

笛吹市石和町上平井 熊野神社

笛吹市石和町下平井 山王神社

笛吹市八代町岡 八幡神社

笛吹市八代町増利 馬蔵神社

笛吹市八代町高家 熊野神社

笛吹市八代町竹居 唐土神社

笛吹市八代町奈良原 牛王神社

笛吹市御坂町新田 山宮神社

笛吹市御坂町夏目原 八幡神社

笛吹市御坂町下野原 諏訪神社

笛吹市御坂町大野寺 熊野神社

笛吹市境川町大坪 八幡神社

笛吹市境川町藤壘 諏訪神社

笛吹市境川町藤壘 諏訪大神社

笛吹市境川町大黒坂 白山神社

笛吹市境川町前間田 諏訪神社

甲府市白井町 金刀比羅神社

中央市大鳥居 表門神社

中央市大鳥居 諏訪神社

浅間愛鷹神社

笛吹市芦川町鷺宿	諏訪神社	中央市高部	秋葉神社	富士川町鯉沢	一宮浅間神社	早川町葉袋	八幡神社
笛吹市芦川町中芦川	白髭神社	中央市木原	山ノ神神社	【三級社】 市川三郷町高田	熊野大神社	早川町雨畑	六社神社
笛吹市一宮町千米寺	諏訪神社	○神職協賛	二十二名	身延町下部	諏訪神社	早川町新倉字大原野	中洲神社
笛吹市一宮町小城	天神社	國立神社	宮司 植松 眞生	富士川町青柳	若宮八幡神社	○神職協賛	十七名
笛吹市一宮町本都塚	熊野神社	美和神社	宮司 桃井 一祝	身延町西島	一宮賀茂神社	若宮八幡神社	宮司 望月 久男
笛吹市一宮町北都塚	太熊神社	浅間神社	宮司 古屋 眞弘	身延町下山	八幡大神社	表門神社	宮司 市川 行治
笛吹市一宮町金田	金山神社	若宮神社	宮司 志村 重治	身延町帶金	諏訪神社	一宮賀茂神社	宮司 稲葉 政信
笛吹市一宮町田中	白山神社	中尾神社	宮司 田村 弘正	南部町南部	八幡神社	諏訪神社	宮司 望月 栄司
笛吹市一宮町地藏堂	熊野神社	比枝神社	宮司 津金 八千代	南部町内船	伊勢神明宮諏訪神社	八幡神社	宮司 山本 純司
笛吹市一宮町土塚	熊野神社	甲斐奈神社	宮司 中川 武仁	【四～六級社】 市川三郷町楠甫	社	神明浅間神社	宮司 依田 淳
笛吹市一宮町東新居	大天神社	浅間神社	欄宜 植松 眞芳	身延町角打	子神社	熊野大神社	宮司 笹本 恵
笛吹市一宮町末木	天神社	両之木八幡宮	欄宜 古屋 有恒	南部町万沢	浅間神社	浅間神社	宮司 近藤 政房
笛吹市石和町唐柏	八幡神社	石和八幡宮	宮司 土橋 英	南部町福土	八幡一宮諏訪神社	八幡神社	宮司 福栄 治憲
笛吹市石和町唐柏	御嶽神社	福歳大神社	宮司 清水 計次	富士川町鹿島	鹿島神社	天神中条天満宮	宮司 堀内 致成
笛吹市石和町井戸	山神	天神	宮司 渡辺 英明	身延町常葉	諏訪大神社	八幡神社	宮司 青嶋 眞
笛吹市石和町中川	東天神社	諏訪神社	宮司 坂本 伸也	身延町梅平	北野天神社	八幡神社	欄宜 深澤 順子
笛吹市石和町唐柏	大龜神社	熊野神社	宮司 岩間 秀人	身延町波木井	八幡神社	表門神社	欄宜 市川 行尚
笛吹市八代町大間田	牛王神社	天神	欄宜 吉川 薫	身延町飯富	宮ノ花八幡神社	表門神社	欄宜 今村 和弘
笛吹市御坂町藤野木	三星神社	八幡神社	欄宜 桑原 久雄	市川三郷町大塚	山王神社	八幡神社	欄宜 北村 眞一
笛吹市御坂町蕎麦塚	大星神社	中尾神社	欄宜 田村 かつおる	市川三郷町落居	熊野神社	表門神社	欄宜 今村 朋美
笛吹市御坂町上黒駒	洗字神社	石和八幡宮	欄宜 津金 正	市川三郷町落居	魔王天神社	○その他協賛者	
笛吹市御坂町下黒駒	天神社	浅間神社	欄宜 古屋 眞東	市川三郷町落居	神明	南部町氏神敬神会	(十八社)
笛吹市御坂町上黒駒(登場禁止)	稲荷神社	浅間神社	欄宜 津金 善美	身延町常葉	日光明神社	内船上	南部町護国神社
笛吹市御坂町上黒駒(若宮)	八幡上野神社	浅間神社	欄宜 須田 順子	身延町飯富	八王子曾我神社	内船上	浅間神社
笛吹市境川町大窪	神明神社	浅間神社	欄宜 須田 順子	身延町大炊平	八幡神社	内船上	御嶽神社
笛吹市境川町大窪	子之神社	浅間神社	欄宜 須田 順子	身延町下山	二宮下加茂神社	居里	八幡神社
甲府市中心経寺町	白山神社	○神社協賛	三十七社	身延町下山	三宮飯繩神社	中村	長田天神社
甲府市右左口町	祭宮	市川三郷町宮原	浅間神社	身延町下山	稻荷神社	島尻	皇大神社
中央市大鳥居	八幡神社	市川三郷町大門	浅間神社	身延町波木井	境宮住吉神社	寄畑	皇大神社
中央市高部	竹輪八幡神社	市川三郷町平林	浅間神社	身延町大城	坂八幡神社	徳間	皇大神社
中央市高部	天輪八幡神社	八幡神社	浅間神社		八幡神社		天輪八幡神社
中央市大鳥居	御崎神社		浅間神社				

忍野村内野	八幡社	北白富士浅間神社	権禰宜	菅沼延浩	大月市賑岡町畑倉	春日神社	上野原市新田(下新田)	神明社
忍野村内野	天狗社	富士浅間神社	権禰宜	渡邊健一郎	大月市七保町瀬戸	春日神社	上野原市鶴島(田野入)	犬嶋神社
富士河口湖町船津	天社	北白富士浅間神社	権禰宜	菅沼孝之	大月市猿橋町猿橋	諏訪春日神社	上野原市上野原新田倉	山梨神社
富士河口湖町船津	太神社	北白富士浅間神社	権禰宜	竹莖元木	大月市猿橋町殿上	三嶋神社	上野原市上野原	佐田神社
富士河口湖町西湖	薬明神社・刻海神社	八王子神社	権禰宜	福住春子	大月市富浜町鳥沢	福地八幡神社	上野原市大野(花坂)	稻荷神社
○神職協賛	四十二名	北白富士浅間神社	権禰宜	小澤輝展	上野原市大野	惣祖神社	上野原市上野原新井	明神社
富士小御嶽神社	宮司 小佐野正史	北白富士浅間神社	権禰宜	鈴木芳美	上野原市上野原	諏訪神社	○神職協賛	六名
神明社	宮司 竹俣忠洲	筒口神社	権禰宜	福住和夫	大月市初狩町中初狩	高岩四所神社	八幡神社	宮司 藤本 巖
富士浅間神社	宮司 渡邊 主計	北白富士浅間神社	権禰宜	釵持美尊	大月市初狩町下初狩	藤沢子神社	春日神社	宮司 藤本 巖
小室浅間神社	宮司 渡邊平一郎	北白富士浅間神社	権禰宜	高阪雄次	大月市富浜町鳥沢	堀之内諏訪神社	春日神社	宮司 渡邊 學
八王子神社	宮司 中村和行	北白富士浅間神社	権禰宜	丹沢稜	大月市梁川町立野	貴船神社	牛倉神社	宮司 中村 宗彦
金山神社	宮司 金子寿元	山神社	権禰宜	矢嶋喜久治	大月市梁川町網之上	小松神社	大神社	宮司 天野 武
北白富士浅間神社	宮司 上文司 厚	八王子神社	権禰宜	堀内和也	上野原市鶴川	鶴川神社	福地八幡神社	宮司 福田 惠介
小室浅間神社	宮司 宮下 富枝	富士小御嶽神社	権禰宜	佐々木大地	大月市賑岡町奥山	春日神社	八幡神社	禰宜 藤本 文彦
北白富士浅間神社	宮司 宮下 重範	北白富士浅間神社	権禰宜	溝田哲司	大月市賑岡町日影	諏訪神社	○その他協賛者	
北白富士浅間神社	権禰宜 田邊 將之	北白富士浅間神社	権禰宜	大嶋 実和	大月市賑岡町強瀬	御嶽神社	大月市猿橋町幡野	知見 龍雄
北白富士浅間神社	権禰宜 小佐野文男	富士小御嶽神社	権禰宜	小佐野良三	大月市賑岡町井山	御嶽神社	大月市猿橋町幡野	古澤 重雄
富士小御嶽神社	権禰宜 佐々木浩文	北白富士浅間神社	出仕 河田 健介		大月市七保町浅川	春日神社	大月市七保町奈良子	
浅間諏訪神社	宮司 郷田 盛直	○神社協賛			大月市七保町奈良子	春日神社		
浅間神社	宮司 小佐野景賀	○神社協賛	四十四社		大月市七保町駒宮	春日神社		
浅間神社	宮司 安田 洋人	【一級社】			大月市猿橋町小沢	田中御嶽神社		
八王子神社	宮司 小林 一夫	大月市駒橋	三嶋神社		大月市猿橋町小沢	三輪神社		
若宮八幡神社	宮司 金子 雄紀	大月市七保町葛野	御嶽神社		大月市猿橋町小沢	御嶽神社		
金山神社	宮司 宮下由起男	大月市七保町下和田	春日神社		大月市猿橋町小倉	御嶽神社		
白山神社	宮司 外川 和徳	上野原市上野原	牛倉神社		大月市猿橋町小倉	御嶽神社		
富士御室浅間神社	宮司 濱 陽一	上野原市桐原	軍刀利神社		大月市猿橋町朝日小沢	北野三社神社		
八王子神社	宮司 堀内 正一	上野原市西原	一宮神社		大月市梁川町新倉	諏訪神社		
福地八幡社	齊藤 雅美	上野原市西原	一宮神社		上野原市野田尻	有倉神社		
富士小御嶽神社	小佐野正崇	【三級社】			上野原市野田尻	犬嶋神社		
山神社	武尊	大月市初狩町下初狩	八幡神社		上野原市川合	犬嶋神社		
		大月市大月町花咲	稲村神社		上野原市松留	広国神社

※役職、所属は協賛当時

すると、しっぽの中から

りっぱなつるぎが 出てきました。

「おお、これは すばらしい。

おねえさんに ささげるといいでしょう。」

アマテラスは とても よろびました。

「わるさばかりしていた おまえが、

よく 人助けをひたすしましたね。

これからも そのこころがけを

わすれないでね。」

「わかりました、おねえさん。」

スサノオは みはらしのよいところに

大きな 御殿ごてんを たてて

クシナダヒメと

しあわせに くらしました。

おしまい

（二九五号より「大国主の物語」を掲載いたします。）

悠紀の里 お田植え祭

三社諏訪神社 宮司 遠藤倫夫

明治神宮より明治神宮百年祭に向けて「悠紀の途切れた歴史を復活させて欲しい」との依頼を受け、令和元年、石田地区の氏子並びに石田お俵連の方々の尽力により、明治天皇大嘗祭以降途絶えた「悠紀の斎田」が復興を遂げました。

去る五月十五日（土曜日）、新緑が薫る爽やかな気候の中、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を行った上で、本年も明治神宮の新嘗祭に稲穂並びに白酒を奉納する為、甲府市 市長樋口雄一様、山梨県神社庁 庁長根津泰昇様、石田小学校 校長雨宮秀樹様、山梨銘醸株式会社様、石田お俵連 会長矢野和彦様、他石田地区有志の方々のご参列のもと、元住吉神社花形豊宮司、私と二人で、悠紀斎田の前にて、「悠紀の里 お田植え祭」を奉仕致しました。

斎主は花形宮司が務め、修祓、献饌、祝詞奏上、斎田清祓い、お田植えの儀と順調に進み、お田植えは、先ずご神前にお供え

した早苗を田圃長にお渡しし、田圃長の指導の下、お俵連の方々に早乙女・早男のご奉仕をお願いし、酒米の早苗を水の張った斎田に手植えして頂きました。一旦お田植えは納め、斎主玉串拝礼、参列者玉串拝礼、撤饌と、祭典を謹んでご奉仕申し上げました。

祭典終了後、お俵連の方々の指導のもと、地元石田小学校の児童二十数名が、裸足で斎田に入り、泥まみれになりながら、一つ一つ丁寧に早苗の手植えを行いました。

苗は、順調に育てば、田植えより約百日後に稲になり、八月中旬以降に「抜穂祭」を斎行し、全て刈り取り、後、山梨銘醸株式会社においで白酒が醸造されます。

総代広場 第六回

〈峡南支部〉

二年続けての

支部総代会総会の中止

総代会 会長 熊王 育雄

新型コロナウイルス感染症措置が続く中、若葉の薫る四月二十五日（日曜日）、南部町分庁舎総合会館に於いて二十三名（欠席連絡十二名）の出席により峡南支部神職総代会合同会議が開催されました。昨年は、全国的な緊急事態宣言下ということもあり、会議を開催することも困難であると判断し、総会は中止として議決については役員理事の書面表決にて決することにしました。本年は、四月二十五日より東京都など数都道府県に緊急事態宣言が発出されることもあり、会議に於いて総会開催について審議することとしました。

議事に先立ち山本支部長より「昨年来、祭事の縮小・中止などが散見されていますが、不易流行ということばがあります。不易は変わらないこと、変えて

はいけないこと。流行は変わるもの、状況に応じて変えること。このような困難な時にこそこのことばを思い、祭事を大事にしたい。」とお話をいただきました。

議事に入り、総会の開催の可否について審議し、満場一致で本年も中止とし、総代会役員会の議決を以って総会議決に代える事となりました。次に、令和二年度事業・決算報告、令和三年度事業計画・予算案等審議され、原案通り決議されました。次に、不活動神社対策について事務局より現況の説明があり、国旗掲揚運動については、町の中に国旗を掲げる家が少ないなど各地の状況の話があり、国旗頒布をすすめることを確認しました。支部伊勢神宮新穀感謝祭参拝旅行・支部研修旅行については、実施を前提に周知していくこととしました。

このような状況ではありませんが、神社への奉賛活動が衰えること無くすすめられるようよりよい方向をめざしたいものです。

祭典を斎行して

令和三年初申祭齋行

北口本宮富士浅間神社

禰宜 田邊 將之

当神社の例祭（五月五日）は別名「初申祭（はつざるさい）」

とか「お初申」と呼ばれ、氏子を始め県内外の崇敬者に親しまれています。その由来は社記によれば第六代天皇であらせられる孝安天皇九十二年の年にそれまで雲霧に包まれていた富士山が忽然とそのお姿を現したと伝えられています。その年が「庚申」の年であった為、当神社では古くより申の年、申の日を縁起として祭礼を行って来ました。特に六十年に一度巡り来る「庚申」の年は「御縁年」として式年大祭を行っています。（前回の庚申は昭和五十五年）この初申祭は御祭神が、農耕特に養蚕に対してのご加護が篤いので、農耕が始まる時期に例祭が選定されたと考えられ、旧暦四月の最初の申の日と定められました。故に「初申祭」と申し上げます。

明治五年、我が国に於いては

太陰暦から現在の太陽暦が採用されました。同時期、国家を挙げて全国の神社の祭礼や制度等が整えられ始め、四月最初の申の日では毎年、日が一定しないので、山梨県からの献幣使参向の都合上、明治四十二年より五月五日と定められました。

毎年参詣者が一人を超え賑やかな祭礼ですが、ご周知の通り感染症騒ぎにより昨年は関係者で神事を行うのみ、今年は当初例年に近い規模で神賑行事を行うとしておりましたが、例祭十日前に一都三県に緊急事態宣言が発出される等止むを得ず急遽規模を縮小して執り行いました。

当神社に限らず全国の祭礼が中止や規模縮小を余儀なくされています。一日も早い感染症騒ぎの収束を祈ります。

神社の名前

原山神社

宮司 上條 晃

全国に数多鎮座する神社夫々に、口碑、謂れ、言い伝え等が数多く存在する中で、その由緒由来が意外に知られていない事も多くあるようです。一年半を経過しても終息を見ないコロナ禍の波の中、新しい生活様式が定着した昨今、人との距離感を意識し、気遣う生活を昨年の正月には誰しも予想だにしなかった事でしょう。

小職が兼務する原山神社も人々の切なる願いと祈りを象徴した神社です。鎮座する旧塩部村を流れる相川が度々氾濫し、田地田畑が浸水し疫病の流行が発生し、地元住民を大変悩ませておりましたところ、通り掛かった行者が「生きたウナギを捧げ、罪穢れを祓い清めて相川に放流して禊をなされば悪病は退散する」とのお告げを言い残して立ち去ったとの言い伝えが残されています。また、原山神社に「疫病退散」の御祈願をしたところ「ウナギを三匹放流しなさい」とのお告げがあり放流の

後には相川の氾濫も疫病の蔓延も収まったとの伝えもあります。

一方原山神社には「ハラ（腹）をやマ（病）ない」事から、ハラヤマ神社だとする説もあります。

時代を超えて疫病退散を願ひ、命の尊さを何より重んじる姿は不変の証左と云えましよう。徐々に進捗するワクチン接種が順調に、そして希望する全ての人々に一日も早く実施される事を、そして私達が今回味わった新型コロナ禍の経験と恐怖を後世に伝える、その責任を痛感するものがあります。

祭 典 日 程

7・25	甲斐市篠原八幡神社茅の輪祭	8・27	北口本宮富士浅間神社鎮火祭	富士吉田市大明見小室浅間神社護國神社招魂祭(戦没者慰霊祭)	10・16	部熊野大神社秋季例大祭 南アルプス市小笠原等屋神社秋季例大祭
7・28	富士河口湖町河口浅間神社 太々御神楽祭(奉謝鎮祭)	8・29	富士河口湖町浅川白山神社例大祭	山中湖村平野天神社御湯花祭	10・17	酒折宮例大祭(宵宮) 甲府市母国船形神社例大祭 昭和町西条義清神社新穀感謝祭
7・31	甲府市善光寺柴宮神社禊祭 甲府市千塚八幡神社例大祭みそぎ祭宵祭	9・1	生出神社八朔祭(例祭)	甲府市朝気熊野神社例大祭 長坂町大井ヶ森森山諏訪神社例祭	10・18	甲斐國一宮浅間神社秋季大祭 甲府市善光寺柴宮神社例大祭 甲府市宮原町宇波刀神社秋季例祭 酒折宮例大祭 甲府市千塚八幡神社秋季例大祭
	甲斐市中下条松尾神社みそぎ祭 中	9・4	甲府市東光寺山八幡神社例祭	高根町長沢船形神社秋季例祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
	中央成島八幡神社夏越の祓 長坂町大八田建岡神社夏越祭	9・5	初狩町下初狩八幡神社秋祭 富浜町鳥沢福地八幡神社例大祭	山梨市三ヶ所諏訪神社秋季例大祭		山梨市正徳寺唐土神社秋祭例大祭 山梨市大工天神社例祭 甲斐市富竹新田神明神社例大祭 甲斐市篠原八幡神社秋季例祭 甲斐市長塚長塚神社秋季例大祭 中央市成島八幡神社例祭 南アルプス市百々諏訪神社秋季例祭 南アルプス市上今諏訪諏訪神社例大祭 南アルプス市鏡中条巨摩八幡宮秋季例大祭 富士吉田市上吉田山神社例大祭 富士河口湖町船津八王子神社秋祭
8・1	大嶽山那賀都神社大祓 甲府市千塚八幡神社例大祭みそぎ祭 都留市朝日馬場石船神社夏祭	9・6	猿橋町殿上三嶋神社例大祭	山梨縣護國神社秋季例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・8	富士吉田市大明見小室浅間神社高座神社祭 忍野村忍草浅間神社忍野八海祭 七保町瀬戸春日神社例祭	9・9	勝山富士御室浅間神社秋祭例大祭・神幸祭	勝山市穴山町穂見神社秋季例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・13	山梨縣護國神社みたま祭(十五日)	9・12	甲府市宮前町八幡神社例大祭 南アルプス市藤田八幡神社秋季例祭 大月町花咲稲村神社秋祭 賑岡町浅利神田神社秋祭	大泉町谷戸逸見神社秋祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・17	富士山小御嶽神社例祭	9・15	富士吉田市上暮地神明社例大祭	八代町北熊野神社秋季例祭 市川三郷町宮原浅間神社秋季例大祭(神楽祭) 牧丘町西保中菖神社秋祭例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・20	石和町市部石和八幡宮撰社祭	9・18	富士河口湖町船津八王子神社例大祭	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・21	昭和町西条義清神社義清公慰霊祭	9・19	富士河口湖町船津箇口神社例大祭	甲斐市西八幡八幡大神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・22	中央市浅利諏訪神社例祭(川除祭)	9・21	忍野村忍草浅間神社末社諏訪神社例祭(秋季大祭)(二十一日)	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
	中央市布施八幡穂見神社夏祭り(祖霊祭) 南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭 南アルプス市鏡中条巨摩八幡宮三社合同祭	9・22	高根町笠輪建部神社祭・戦没者慰霊祭	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
8・26	北口本宮富士浅間神社鎮火祭	9・23	山縣神社例祭 大月市駒橋三嶋神社秋祭 一宮町橋立甲斐奈神社秋祭例大祭 白州町白須若宮八幡神社例大祭	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
		10・14	甲州市塩山竹森玉諸神社例祭	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
		10・15	石和町市部石和八幡宮秋季例祭 富土川町町鮎沢八幡神社秋祭 石和町川中島比枝神社秋季例祭 身延町下	市川三郷町鴨狩津向城山神社秋季例祭 身延町下山一宮茂茂神社例大祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭
		10・18	富士河口湖町浅川白山神社紅葉祭	津筒口神社参籠祭		山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭

支部総会報告

東八代支部総会

日時 五月二十九日(土)

場所 浅間神社

今後開催予定の支部総会

甲府支部神職総代会合同総会

日時 八月十九日(木)

場所 ベルクラシック甲府

南都留神社関係者大会

日時 十月開催予定

場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

開催中止の支部総会

東山梨支部総会

峡南支部総代会総会

峡中神社総代会並びに

山梨県神社庁峡中支部総会

峡北支部総代会通常総会

北都留支部総代会総会

今後の予定

○全国神社総代会大会

全国神社総代会大会が左記の日程により開催されます。本大会は、全国各県の総代が一同に会して、総代としての意識の高揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとするものです。今年には広島県での開催です。

尚、新型コロナウイルス感染症拡大状況により大会の開催方法の変更、開催の延期中止等もあり得ますことをご承知置き下さい。

記

一、大会日時

令和三年九月七日(火)

二、場所

広島市文化交流会館

(広島文化学園HBGホール)

○令和三年度神宮大麻暦頒布始祭

令和三年神宮大麻暦頒布始祭を左記に依り斎行致します。

記

一、日時

令和三年九月二十九日

(水曜・赤口)午後二時

二、場所

山梨県神社庁 神殿

○山梨県神社庁顧問参与会

神職身分二級以上の神職で構成されております神社庁顧問・参与会第二十九回例会を左記により開催致します。

記

一、日時

令和三年九月二十九日

(水曜・赤口)午後三時

二、場所

ホテル談露館

○山梨県神社庁関係者大会

令和三年度神社関係者大会を左記の日程、要項で開催致します。混迷する時局に鑑み神職総代相共に神社神道の昂揚に邁進し、以て地域の平安・活性化と国の隆昌に寄与致したいと存じます。今大会は神社庁設立七十

五周年の記念大会となりますので、何卒万障御差練り御参会下さいますようお願い申し上げます。

尚、新型コロナウイルス感染症拡大状況により大会の開催方法の変更、開催の延期中止等もあり得ますことをご承知置き下さい。

記

一、日時

令和三年十月二十八日(木)

午後一時

二、場所

YCC県民文化ホール

(山梨県立県民文化ホール)

二、内容

第一部 物故者慰霊祭

第二部 式典